



まちの話題

文化の社交流館コモッセ 来館者200万人達成

9月24日に、文化の社交流館コモッセで、来館者が200万人を達成したことを記念し、認定書の授与が行われました。

節目の来館者となったのは花輪高校に通う齊藤彩乃さんで、下校時に母との待ち合わせで、いつも利用しているそうです。

齊藤さんは「200万人突破は、とてもおめでたい事。これからもどんどんコモッセが盛り上がってほしい」と話しました。関市長は「鹿角の文化に触れられる場であり、多くの学びの場所として、今後もたくさんの方から利用していただきたい」と述べました。



子育て応援 リユース事業

9月18日に、福祉保健センターで子育て応援リユース事業が行われました。

この事業は、市内の一般家庭から提供された制服や通学カバン、楽器、習字セットなどの学校用品を、必要な方に無償でお譲りする事業です。

会場では、親子で、制服やジャージを体に当ててサイズを確認したり、楽器や習字道具などを手に取ったりして、今後の学校生活に役立てようと、必要な物を選んでいました。



明治安田生命 「私の地元応援募金」 贈呈

9月30日に、明治安田生命相互保険会社鹿角営業所の佐久間所長らが鹿角市長を訪れ、従業員と会社のマッチングにより集めた「私の地元応援募金」を本市に寄贈しました。

これは、地方自治体との協働を通じて、地域社会に元気を届けようという同社のプロジェクトで、昨年からの続いて3回目になります。

佐久間所長は「コロナの収束が見えず、苦勞されていると思う。文化交流や子育て事業に役立ててもらいたい」と話しました。



大湯環状列石ガイド 入門講座

4月から10月まで、毎月1回、大湯ストーンサークル館で、大湯環状列石のガイド入門講座が開かれました。これは、大湯環状列石の知識やガイドの基礎を身につけるために毎月行っている講座です。

受講者は小学生から高齢者まで幅広く、講座では、市芸員や大湯SCの会の方が講師を務めました。座学のほか、展示ホールで、講師が実際にガイドを行いながら、案内や説明のコツを受講者に丁寧に教えていました。



鹿角市総合防災訓練

10月3日に、十和田市民センター周辺で鹿角市総合防災訓練が実施されました。

訓練の内容は、大規模地震が発生し、行政機関の出勤が追いつかないという状況を想定したものです。現地指揮本部の設置や情報の収集、伝達、避難誘導、さらにテントで煙の体験をしたり、消火活動をしたりするなど、地元住民が主体となって各訓練を実施し、お互いに防災意識を高め合いました。



わくわく土曜教室 2021 KAZUNO 秋季ロボリンピック

9月23日に、記念スポーツセンターで、プログラミングによるドローンの操作を体験する「秋季ロボリンピック」が開催されました。

参加した子どもたちは、保護者やスタッフの力を借りながらプログラミングに挑戦し、どうしたらうまく飛ぶのか、何を変えたらゴールまで飛ばせるかなど、試行錯誤していました。ドローンがゴールまで到達したときは「やった!」「うまくいった!」と歓喜の声をあげていました。

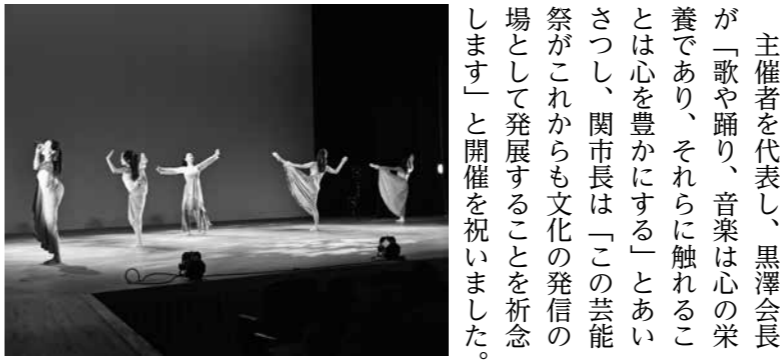


鹿角市芸文協 チャリティー芸能祭

9月26日に、文化の社交流館コモッセで「第26回鹿角市芸文協チャリティー芸能祭」が開催されました。

今年は「鹿角に新たな誇りと自信」というテーマのもと、12団体、総勢約90人が参加しました。舞踊やバレエ、朗読劇、大正琴など、日ごろの練習の成果を披露し、観客を楽しませました。

主催者を代表し、黒澤会長が「歌や踊り、音楽は心の栄養であり、それらに触れることは心を豊かにする」とあいさつし、関市長は「この芸能祭がこれからも文化の発信の場として発展することを祈念します」と開催を祝いました。



2021全国ジュニアサマーノルディックス キー大会IN鹿角兼全日本スキー連盟A級公認 2021鹿角サマージャンプ・コンバインド大会

10月8日から10日にかけて、花輪スキー場で「2021全国ジュニアサマーノルディックススキー大会IN鹿角兼全日本スキー連盟A級公認2021鹿角サマージャンプ・コンバインド大会」が開催され、総勢約200人の選手が参加しました。

本市で開催されるスキー大会は約1年半ぶりですが、選手たちも久々の大会でしたが、日々の練習の成果を発揮し、白熱したレースを繰り広げました。地元出身選手たちも健闘し、ジャンプ、ローラースキーともに、入賞を果たしました。

